

高齢化社会において、高齢者および家族の間では、終末期ケアの関心が高まってきています。病院において死を迎える従来の傾向から、自宅や介護保険施設、または中間的な施設で「看取る・看取られる」というように多様化してきています。特別養護老人ホームにおいても、「終のすみか」というニーズにこたえるべく、ターミナルケアの確立が求められています。

以下の質問について、職員が意見を述べました。

◆ターミナルケアとは何か

- ・死ぬ前の準備のこと。
- ・人生の最期をどう過ごすか家族と相談して考えること。

◆自分はどうやって最期を迎えたいか

- ・家族に迷惑をかけずに病院・施設で亡くなりたい。
- ・家族に囲まれて最期を迎えたい。
- ・あまり考えたくはないが一人でさみしくは嫌。

◆自分の家族をどう看取りたいか

- ・自宅で家族を看取りたい。
- ・本人の望むような形で、話をよくきいてあげたい。

【家族の想い】

・施設での看取りを希望されていた家族が、最期の時を迎えようとしている本人を目の前にした時の想い。

- ・看取りが終わった時に家族はどう感じているのか。 を考えること。

【ターミナルとは】

「出会った時からターミナル」。その方とお会いしたときから、ターミナルケアは始まっていると私たちは考えます。利用者の皆様方にとっては、今日が最後の一日かもしれない、と考え、幸せな気持ちで、充実した時間を過ごしていただくように接することが私たちの使命ではないでしょうか。